

2022年 6月 22日

龍谷大学図書館長 殿

所属・職名 文学部准教授

氏名 小林 徹

2020年度 大型図書 研究成果（経過）報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

購入資料名 Kantiana Collection, 10 itemes.	採択年度 2020年度
<p>1. 研究の概要について</p> <p>18世紀から19世紀にかけてのカント哲学とその周辺を含む歴史的哲学研究、文献研究のための資料であり、カント哲学が現代哲学であった時代に、どのような信望者を得、また、いかなる反対者がいたかについて、当時のテキストから知ることは、現代の我々にとって極めて重要である。また哲学自体に含まれている問題点を新たな視点で析出することができる。</p> <p>2. 購入資料の活用状況（活用予定を含む）について記入してください。</p> <p>(1) Fuelleborn, <i>Beytraege zur Geschichte der Philosophie</i>. よる、カントと時代に至る中世哲学の概念史の変遷を調査した。その成果は、以下、山口、平野の論文に一部反映されている。</p> <p>(2) Bardili, <i>Epochen der vorzueglichsten philosophischen Begriffe</i>. による、当時の論理思想とその周辺から、今日の論理学の関係が調査され、藤本が科学哲学の講義の資料とした。</p> <p>(3) Stattler, の <i>Anti-Kant</i> は、その後の人類学や現象学に連なる視点が読み取れ、小林が、以下の論文を作成する際に参考にした。</p> <p>(4) <i>Philosophisches Woerterbuch</i> を利用して、「悟性 (Verstand)」や「表象 (Vorstellung)」の当時の辞書的な意味を確認した。その成果は、以下、山口の研究発表および論文に一部反映されている。</p> <p>(5) 倫理学における「愛 (Leibe)」の位置づけを明らかにするために、<i>Versuch einer Moralphilosophie</i> を使用した。その成果は、以下、山口の研究発表および論文に反映されている。</p>	

3. 研究発表状況（予定を含む）について記入してください。

【雑誌論文】（山口雅広「性向あるいは徳としてのカリタスにかんする若干の考察（上）：トマス・アクィナス『命題集注解』の場合」『龍谷哲学論集』第36号、2022年）

【雑誌論文】（平野和歌子「起源からの流出／誕生、ペルソナと固有性：ボナヴェントゥラの『生むゆえに、御父である』に関して」『龍谷哲学論集』第36号、2022年）

【学会発表】（山口雅広「トマス・アクィナスの神学的体系における政治学と倫理学の関係」「西洋中世スコラ学における『倫理学を内在化する政治学』への批判的研究」第1回倫理学的政治学研科研究会、2021年9月20日）

【学会発表】（山口雅広「性向あるいは徳としてのカリタス：トマス・アクィナス『命題集注解』による」「西洋中世スコラ学における『倫理学を内在化する政治学』への批判的研究」第1回倫理学的政治学ワークショップ、2022年3月18日）

【学会発表】（小林徹「野生を取り戻す：メルロ＝ポンティと現代人類学」日本メルロ＝ポンティ・サークル第27回研究大会シンポジウム「メルロ＝ポンティと人類学」、2021年9月19日）

【学会発表】（平野和歌子「ボナヴェントゥラにおけるペルソナの固有性」日本宗教学会第80回学術大会、2021年）

☆資料購入後、**1年以内に研究経過報告書**を提出し、また、**3年以内に研究成果報告書**を提出してください。加えて著書または学術雑誌等により**研究成果の公表または学会発表**をしてください。

☆公表の際には、参考文献として刊行物に明記してください。